

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
外国語	英語コミュニケーション I	3	習熟度別	共通	1

教科書（発行所）	CREATIVE English Communication I（第一学習社）
教科書以外の教材	1 英作基本文例 600（啓隆社） 2 単語帳（未定）

学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。		
---------	--	--	--

学期	学習事項	学習内容(記号は評価の観点)	考查等
1 学期	Lesson 1 Achieving Your Dreams to不定詞/動名詞、日本語と英語の語順の違い	・大谷選手のメッセージを理解し、その内容を伝えることができる。(イ)・文法事項を理解し、活用できる(ア)・読み手に配慮し、「目標達成シート」を書く。(ウ)	中間考查
	Lesson 2 What Do You Eat for Lunch? 現在完了形/分詞の形容詞用法 リズム・イントネーション	・世界の「弁当文化」を理解し、伝えることができる。(イ)・文法事項を理解し、活用できる。(ア)聞き手に配慮して、考えた弁当についてわかりやすく説明しようとする。(ウ)	期末考查
	Lesson 3 The Evolution of the Cellphone 現在完了進行形/関係代名詞、意味のまとまり	・携帯電話の発展について理解し伝えることができる。(イ)・文法事項を理解し、活用できる。(ア)・聞き手に配慮したプレゼンテーションをしようとしている。(ウ)	期末考查
2 学期	Lesson 4 A Healthy Planet 助動詞+be+過去分詞/It seems that … ディスコースマーカー	・絶滅危惧種の保護について理解し、整理して伝えることができる。(イ)・文法事項を理解し活用できる。(ア)・聞き手や読み手に配慮して、ポスターを作成し、説明しようとしている(ウ)。	実力考查
	Lesson 5 The Adventures of Curious George's Creators 知覚動詞・使役動詞+O+C (=原形不定詞)、関係代名詞 what、音の変化	・作者の人生について整理し伝えることができる。(イ)・文法事項を理解し、活用できる。(ア)・インタビューの注意点を理解している。(ウ)	中間考查
	Lesson 6 Messages about Happiness from Jose Mujica 過去完了形・過去完了進行形/S+V+O (+O) (=疑問詞節)、考えや意図を伝える表現	・ホセ・ムヒカの幸福に関するメッセージを理解し、伝えることができる。(イ)・文法事項を理解し活用できる。(ア)・聞き手や読み手に配慮して幸福を感じるときについて説明しようとしている。(ウ)	期末考查
3 学期	Lesson 7 To Stop Plastic Pollution S+V+it+C+to不定詞/関係副詞、パラグラフの構造	・海洋プラスチック汚染について理解し、伝えることができる。(イ)・文法事項を理解し、活用することができる。(ア)・読み手に配慮して、環境問題のためにできることをわかりやすく書く。(ウ)	期末考查
	Lesson 8 Stories to Be Passed On 仮定法過去/仮定法過去完了、キーワード・言い換え表現	・ストーリーを理解し、伝えることができる。(イ)・文法事項理解を理解し、活用できる。(ア)・、平和の定義について説明しようとしている。(ウ)	実力考查
	Lesson 9 Will Human Beings and AI Go Hand in Hand? 分詞構文(現在分詞)/関係詞の非制限用法 事実や情報を伝える表現	・将来の人間とAIのあるべき姿について理解し、伝えることができる。(イ)・文法事項理解を理解し活用できる。(ア)・聞き手や読み手に配慮して、人間とAIが共存する将来を説明しようとしている。(ウ)	学年末考查

授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	<ol style="list-style-type: none"> 提出物・宿題は期限をきちんと守る。 日本語と英語の音の違いを学んで、声に出して読む練習をする。音読を積極的に取り入れる。 授業中は必ず辞書を持参し、こまめに辞書を引く習慣をつけ、語彙力をつける。 ノートやプリントは板書をそのまま写すだけで終わらせず、説明を集中して聞き、メモを取ったり、アンダーラインを引いたりする習慣をつける。ノートが自分の参考書になるので、後から復習で活用できるように丁寧にまとめる。 言語は自分で努力をして学んだもの以外は身につかない。必ず予習をして授業に臨み、その日のうちに復習をすること。予習→授業で確認→復習のサイクルを身につけて繰り返すことが確かな英語の力となる。
----------------------	---

評価の観点	ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
評価の方法	授業時の観察・定期考查・課題確認テスト(小テスト)・インタビューテスト・日々題・週課題。授業に臨む姿勢や意欲及びパフォーマンス評価・自己評価を総合的に評価します。 いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力をまんべんなく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。		